

2018年3月9日

**ルームエアコン『risora』  
世界的に権威のあるデザイン賞「iF デザインアワード 2018」を受賞**

ダイキン工業株式会社のルームエアコン『risora』が、世界的に権威のあるデザイン賞「iF デザインアワード 2018 (iF DESIGN AWARD 2018) ※1」を受賞しました。

「iF デザインアワード」は、ドイツのデザイン団体「iF International Forum Design※2」が1953年から毎年主催する国際的なデザイン賞です。「プロダクト」「パッケージ」「コミュニケーション」「プロフェッショナルコンセプト」「サービスデザイン」「インテリア・内装建築」「建築」の7つの分野で卓越したデザインが選定されます。対象は、2年以内に製品化された全世界のデザインで、美しさや機能性、革新性など18項目の評価基準により審査されます。本年は54カ国の企業やデザイナーから6400点を上回る応募があり、63名の国際的なデザインの専門家の審査により、プロダクトの分野において当



ルームエアコン『risora』



iFデザインアワード2018のロゴ

社の『risora』が受賞しました。

『risora』は、デザイン性と機能性の両立にこだわり、「理想の空間の一部になり、心地よさを届ける」をコンセプトに、空気と空間両面での心地よさを実現したルームエアコンです。インテリアに馴染む形状や素材の質感などのデザイン性と、当社ルームエアコンにおける最高級の機能性を追求しました。室内機は、圧迫感をなくすために奥行きを抑え業界最薄※3を実現し、前面パネルは、自動車の内装部品などにも使用され定評のある表面加飾により、マットな質感やツヤ感を実現しました。また、多様化するインテリアのニーズやこだわりに対応するため、木目やツヤ、織目など多彩な質感を表現した高級感溢れる7種類のバリエーションを揃えました。さらに、当社ルームエアコンの最上位機種『うるさら7』で好評の快適機能を搭載し、空気の心地よさも実現しました。

『risora』は、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2017年度グッドデザイン賞」も受賞しており、多方面で高い評価を得ています。

なお、当社における様々なデザイン活動やその評価は、当社WEBサイト「DAIKIN Design」(<http://www.daikin.co.jp/design/>)にて紹介しています。

※1 iF デザインアワードは、65年の歴史を持つ国際的に権威あるデザインアワードのひとつ。毎年、全世界のデザインを対象に優れたデザインを選定しています。

※2 iF International Forum Design は、世界で最も有名なデザイン賞のひとつである iF デザインアワードを主催する団体で、毎年世界各国から5000件を超える応募が行われています。

※3 当社調べ：壁掛形 冷房能力2.8kW以上の家庭用エアコンにおいて(2017年10月現在)。

●報道機関からのお問い合わせ先

ダイキン工業株式会社 コーポレートコミュニケーション室

【本社】 〒530-8323 大阪市北区中崎西二丁目4番12号 梅田センタービル  
TEL (06)6373-4348 (ダイヤルイン)

【東京支社】 〒108-0075 東京都港区港南二丁目18番1号 JR品川イーストビル  
TEL (03)6716-0112 (ダイヤルイン)

## 【ご参考】

### ○デザインの特徴

#### ◆形状へのこだわり

室内機の横幅は国内の住環境に適した半間に納まる 798mm にしながらも、室内機の厚みを業界最薄の 185mm に抑えました。また、形状は極力シンプルに、さらに室内機の両側面を内側に絞り込むことで、圧迫感の軽減を追求しました。さらに、エアコン運転時に正面パネルや風向フラップが動いても、機能性を犠牲にすることなく美しさを保つ構造を新たに採用しました。

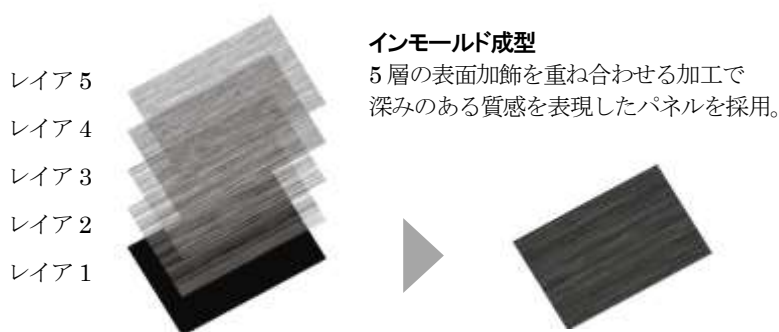
圧迫感を軽減し、部屋に馴染ませるため、内側に絞られた室内機の両側面。



運転時でも美しく見えるように一体感を持たせた正面パネルと風向フラップ。

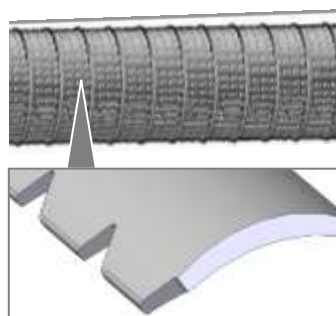
#### ◆質感へのこだわり

樹脂素材の無機質な質感をそのままにせず、正面パネルの上にプリント柄を何枚も重ね合わせるインモールド成型技術を採用しました。この技術で表現された豊かで深みのある木目や織目などの質感が、多彩なインテリアとの調和を生み出します。

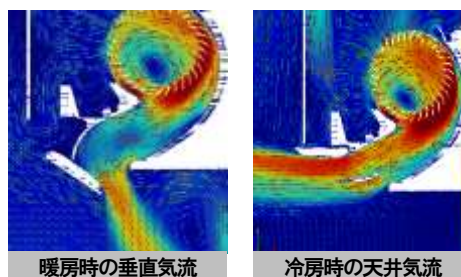


#### ◆性能へのこだわり

室内機の薄さを追求し、室内機内部の空間が狭くなると、従来のファンではファンの回転による異音が発生します。『risora』は、新たに開発した多連結ソウエッジクロスフローファンを搭載することで、風量を抑えることなく静音性を確保しました。また、当社の最上位機種『うるさら7』で培った気流技術を活かした冷房時の「天井気流」と暖房時の「垂直気流」を搭載し、人に直接風が当たりにくい気流制御による“空気の心地よさ”を実現しました。



**多連結ソウエッジクロスフローファン**  
従来の約2倍にしたファンの連結数と、翼の切込みが、風切り音を分散・低減。



**天井気流と垂直気流**  
人に直接風が当たりにくい気流制御で、“空気の心地よさ”を実現。